

PART 5

新型肺炎のはやる今こそ有効！
医師も実践！ 家運長久！

日本人が昔からやっていた

神様に応援してもらおう習慣

新四柱推命天星会代表 齋藤石蚰葩

病院が大きくなり
経営も安定！

私は、四柱推命師として、約6年間、読売新聞、読売新聞オンラインの「1年の運勢」欄を担当していました。

しかし、産婦人科医である夫がクリニックを開業するにあたり、その手伝いに専念するために、担当を降り、個人鑑定もすべてお断りするようになりました。

ところが、その後、私への問い合わせが殺到しました。「今はどこで連載されているのか」「個人鑑定は受け

られるのか」など、多くの問い合わせが来たのです。

このような反響はとでもありませんでしたが、開業してしばらくはスタッフも少なく、業務をこなすのがやっとで、とても個人鑑定などできない状況でした。

しかし、少しでも皆さんの役に立てばと、不妊治療や子育て、婦人病などの情報を更新していたクリニックのブログで、占いや鑑定などの話題も公開するようにしました。

すると、それがとても好評で、ブログやクリニックへの来訪者数も増えました。現在はブログで不妊や子育てに悩むかたやクリニックの患者さん向けに相談を受けつけています。

そのブログで、今年の元旦、2020年の大予想を公開しました。そこに以下の記述があります。

「庚（かのえ・陽の金）の五行はハitek産業や、医療産業にもつながります……。健康問題においては、庚（かのえ）は肺と関連してきます

ので、鳥インフルエンザなど新型のインフルエンザに注意が必要です。が、特效薬が発明されることを祈り

ます」

この予想は残念なことには的中し、現在、新型肺炎が世界中に蔓延しています。しかし、ワクチンや新薬が今年中に開発される可能性は大です。

気になるのは、4月庚（かのえ・陽の金）5月辛（かのと・陰の金）と金の五行が続くことです。この時期が新型肺炎の流行のピークになると思われます。

もうしばらく辛抱が必要ですが、神社に茅の輪（※1）が飾られる6月頃には、新型肺炎も収束に向かうと信じています。

というのも、私たちのご先祖様は神様のお力を借りて、「大難を小難に、小難を無難に」、また、災いを福に転ずる」ことができるよう、節目ごとに神社に参拝し、神様に感謝することを習慣にしていました。

疫病が流行する時期に茅の輪をくぐるもの、半年分の災厄を払い、年の後半を健康で幸せに過ごすために行われていた神頼みの習慣です。昔から途絶えずに受け継がれてきたということは、効果があるということ



さいとう せいば
夫が院長を務める齋藤シーサイドレディースクリニックで、ドウラとしてお産のお手伝いをするかたわら、四柱推命師としても活動。アロマセラピーやツボ療法、薬膳、陰陽五行などを活用し、お産を楽しむ手法が好評。四柱推命師としては、読売新聞、読売オンラインの「1年の運勢」欄を

6年間担当。クリニックのブログでは、独自の占いやスピリチュアルなテーマを公開し、ファンを集める。現在は齋藤シーサイドレディースクリニックのブログの読者向けと、よみうりFBS文化センター（北九州市）の講師としてのみ鑑定を受け付けている。
齋藤シーサイドレディースクリニックの40代でもあきらめない妊活ブログ＝<https://ameblo.jp/shicyusuimeiseiha/>

※1 6月30日に行われる夏越祓（なごしのはらえ）のとき、神社の参道に設ける茅（ちがや）で作った輪。これをくぐることを「茅の輪くぐり」といい、病気が避けられるという

神様と仲よくなって金運が爆上げする

3つの最強習慣

① あなたの土地の氏神様と仲よくする

② 己巳つちのとみの日には弁才天様へお参りする

③ 神社仏閣に寄進する

です。新型コロナウイルスが流行した今年は、特に茅の輪くぐりはお勧めです。

神様の力を借りることで、健康だけでなく金運アップもできます。

私自身、昔の人がやっていた神頼みの習慣を真似ただけで、財運をアップさせた一人です。

実は、夫のクリニックスは開業当時、交通の便が悪いこともあり、患者が少なく、人手も不足し、経営が困難な時期がありました。そこで「苦しいときこそ昔の人が習慣にしていた神頼み」を実践し、日々努力していると、神業としか思えないよ

うなタイミングで、人や物が揃い、

ピンチから大逆転したのです！

最初は半信半疑だった夫も、今では私の神頼みの習慣を応援してくれています。

現在、不妊治療の成績も全国トップレベルを達成し、評判を聞いて遠方からもたくさんのお客さんが通院してくださるようになりました。

病院が大きくなり、経営も安定したのは、ズバリ「日本人が昔からやっていた神様に応援してもらった習慣」を実践した結果だと思っています。そのやり方を詳しく説明します。

地元の氏神様を
たいせつにする

神様に応援してもらう習慣①

あなたの土地の
氏神様と仲よくする

「神社にお参りに行く」と言うと、少し遠いけど、ご利益りやくで有名な神社にばかり行っている人も多いのではないのでしょうか。それもいいのですが、もっと大事なことがあります。

昔から「遠くの親戚よりも、近くの他人」と言われています。実はこれは、神様にも当てはまります。ご利益を求めて遠くの神様のところに行く前に、自分の住んでいる、働いている土地を守ってください。『氏神様』をたいせつにしてください。

なぜかという、これには氏神様側の都合もあるのですが、氏神様は氏子（氏神様が守ってくれる範囲に住んでいる者）が幸せになることで、自らの位も上がります。「氏神様、お力をお貸しください」と言うだけで氏子のために働いてくださ

る、まるで両親のようにありがたい神様なのです。

ですから、「まだ氏神様をお参りしたことがない」という人は、ぜひ近くの氏神様を参拝し、ご挨拶をしてください（※2）。

一度お参りすれば、自宅を手を合わせるだけで氏神様は力を貸してくださいます。私は毎朝神棚に向かって「氏神様、いつもお助けいただき、ありがとうございます。今日も一日お守りください」と手を合わせています。神棚がなければ、起きてすぐ布団の上でもいいので、手を合わせて感謝しましょう。

地域の氏神様とつながってから、

遠くの神様より近くの神様
地元を守る氏神様に感謝する



氏神様はあなたの家にいらっしゃるのだから、朝起きたら布団の中でも手を合わせる

※2 その土地の氏神様を知らない場合、神社本庁に問い合わせると教えてくれる。新興住宅地の場合は、氏神様がわかりにくいことがあるので、近くの気の合う神社を参拝してもよい

井才天様をお参りして
開運しよう!

2020年の
「己巳の日」

5月26日 7月25日

9月23日 11月22日

井の頭公園の井才天様。
比較的身近に祀られている



いわゆる全国のご利益で有名な大きな神様のところに行くと、スムーズに神様ともつながれます。

デマの吹聴や
買いだめは「穢れ」

特に、氏神様参りは、新型肺炎の流行で世の中の元気がなくなっている今こそ有効です。

非常時になると、多くの人が不安に陥り、知らず知らずのうちに、「気が枯れ（「穢れ」）をまき散らす人が増え始めます。

穢れとは、ウィルスのことを指していません。不安を煽ったデマを拡散したり、過剰反応して買いだめなど利己的な行動を取ったりする。こ

れこそが穢れなのです。

「穢れ」というと、体に汚いものがついた状態を連想します。しかし、本来は、人がつらい出来事などによりエネルギー（気）を消耗し、気が枯れたような状態になることを「気枯れ」といいます。これが転じて「穢れ」と呼ぶようになりました。穢れとは外からつくものではなく、内から発生するものなのです。

怖いことに、気枯れ状態のときは、気のバリアがなくなり、病気に對する免疫力も落ちてしまいます。気枯れを回復するのに最もお勧めなのが、地域を守ってくださる氏神様のところに参拝することです。

神社にご神木があるのは、ご神木の

のような大木が育つほど気のエネルギーの高い土地が、神様をお祀りする土地として選ばれていることを意味します。

気枯れを回復させるためには、エネルギーの高い場所にある氏神様を参拝して、そこで深呼吸をし、気を充電するのが最もお勧めです。

お参り中に
金の光に包まれた

神様に応援してもらう習慣②

己巳の日には
井才天様へお参りする

己巳の日とは、60日に一度巡ってくる井才天様の縁日です。この日は特に、井才天様をお祀りする神社を参拝するのがお勧めです。

井才天は、井財天とも書きます。

「財運の神様」と呼ばれ、もちろん金運アップのご利益もあります。しかし、そもそもの功德は、井才天の「才」のほう、すなわち知恵、弁舌、技芸の女神であり、技能の上達を助け、災いを除き、名声を得るといいう働きがあります。まさしく魅力アツ

ブの神様なのです。

ただ金運がアップするだけではなく、一歩一歩自分の技術や能力を高めるために努力する人を応援してくださる。自分の才能を磨き、極めるにしたがって、人気運もアップし、次のステージへと導いてくださる。さらに、そのステージごとに必要な金運も調達してくださる。そういうご利益のある神様なのです。

己巳の日は60日に一度のことなので、私のように忙しくても、なんとかスケジュール調整して、お参りに出かけられます。井才天（市杵島姫命）をお祀りする神社は意外に多いので、比較的近くにもあると思います。

私の場合、己巳の日はなるべくお休みして、井才天様をお参りした後、自然が豊かな場所に行ったり、おいしいものを食べたりして、エネルギーをチャージしています。

60日に一度、井才天様の前で「今までのことを感謝します。これからがんばりますので、応援よろしくお願いします」と手をあわせるだけで、体も元気になり、能力も高まり、



齋藤先生が再建に携わる狩尾神社で行われている祭典の様子

さらにそれが金運アップにつながる開運法です。

私は2年前の夏、佐賀の弁才天様をお参りしていたら、いきなりものすごい金の光が降り注ぎ、目も開けられない経験をしました。それ以降、幸運続きで運氣絶好調です。

寄進はとても コスパの高い開運法

神様に応援してもらう習慣③
神社仏閣に
寄進する

私は全国の神社を参拝しますが、まるで呼ばれたかのように災害復興・再建のお願いや、記念行事の造営など、寄進（寄付）を募っている

看板をよく目にします。その都度、最低一口は寄進させていただいてます。

神社の造営の際に寄進すると、運氣は確実に上がります。金運アップの方法はいろいろありますが、その運氣上昇レベルは、費用対効果で考えると、最上の効果があると言って、間違いないではありません。私も、その恩恵をととても実感しています。

特に効果の高い、寄進の2つのパターンを紹介します。

1 建立の寄進

神社仏閣の建立となると、これはめったに無いチャンスです。齋藤シーサイドレディースクリニックスの隣山にも、国常立尊、豊受大神、大己貴命を祀った狩尾神社という由緒正しい、格式の高い神社がありました。しかし、戦後に消失してしまっています。

私は最初、引き寄せられたように、境内の掃除から始めたのですが、今では建立に向けて活動を始め、定期的に宮司様を呼んでお祭りを行っています（上の写真参照）。以

降、私たちの事業はものすごい守護をいただいています。

もし、近くの神社仏閣で建立の寄進を目にしたら、金運爆上げの大チャンスです。ぜひできる範囲で寄進されることをお勧めします。

2 災害などの再建の寄進

震災はもちろん、異常気象がもたらす集中豪雨などで被害を受けた神社仏閣も少なくありません。それが大きな神社仏閣であれば、災害後、すぐに復旧に動き始めます。

しかし、過疎の進む地域や、氏子の皆さんが高齢になっている地域などでは、復旧が進まず、そのままになっているところが多くあります。

そういう神社仏閣にご縁ができたら、金銭面だけでなく、いろいろな面で力を貸してあげてください。宮司さんや地域のかたに断りをいれて、掃除などの奉仕をすることも立派な寄進の方法です。

「徳を積む」とはなかなか難しいものです。昔のお金持ちは、利益を還元する意味でも、神社仏閣に積極的

で、あなた、家族、そして子孫たちに、莫大なご利益になって返ってくるのです。

四柱推命師として多くの人を鑑定すると、「私はすごくがんばっているのに、なぜ金運が悪いのでしょうか？」という質問をよく受けます。でも、よく聞くと、特別お金に困っているわけではなく、しいて言え

将来のお金がお金心配とか、そういう話なのです。自然の法則に従うなら、世のため、人のために力を発揮している限り、そのステージに必要なだけのお金は入ってくると考えられます。日々研鑽を積み、ステージが上がれば、自然と入ってくるお金も増えていきます。

でも、自然の法則に従うということとは、上ることもあれば、下ることもある。暑いときもあれば、寒いこともあるということ。です。

ステージを上げようとするとき、また上がる時はなるべく高く上がり、下るときはなるべく下げ幅を小さくする。そのとき、力になってくれるのが、神様なのです。